

里山を通じた 循環型地域づくりのための 次世代(ユース)育成・交流促進事業



アオキ刈りをしてフィールド整備をする。

プログラム開催回数 6回

イベントの
延べ参加者数

111人

活動の全体目標に
対する達成度

90%

課題

循環型地域づくりにおいて、子どもたち自身が意識を向上させ、問題解決力を身につけられるように将来地域を担う次世代の育成が非常に重要である。

活動内容

東京都八王子市高尾地域の里山「高尾100年の森」にて、高校生・大学生のユースを対象に、循環型地域づくりのための里山体験プログラムを実施した。里山のフィールド整備、他地域(長野県)のユースとの地域間交流、地域住民の中高齢者との世代間交流等の活動をととして、参加したユースが自然と人の共生、地域にある里山の社会的重要性等を理解し、考える力や問題解決能力を養うことを目的としている。



参加者全員で里山の今後について考える

今後の課題

本活動成果を一時的なものにしないために、参加者が継続して対象地域へかかわることのできる仕組みづくりや情報発信が求められる。

成果と工夫した ポイント



成果

参加したユースは、里山の重要性や里山管理の意義を知っている段階から里山の社会的重要性を理解し、活動地である里山の展望について考えることができるようになった。(KHコーダーによる共起ネットワーク分析。)

工夫

全6回のプログラムに連続性をもたせ、さらに各回に季節感や世代間・地域間交流など特色があったこと。